

長沼地区河川防災ステーションとその周辺の整備について

長野市（河川課・道路課・復興推進特別対策室）

国土交通省 北陸地方整備局 千曲川河川事務所

目次

<u>1. これまでの説明会について</u>	3
<u>2. 法面強化について</u>	6
<u>3. 周辺道路について</u>	11
<u>4. 内水対策について</u>	16

1. これまでの説明会について

長沼地区河川防災ステーション説明会(令和4年3月)

■日 時:令和4年3月11日(金)
18:00~20:00

■場 所:長野市 穂保研修センター

■出席者:参加者 43名

【説明会の目的】

「長沼地区河川防災ステーションの計画」について説明

【千曲川河川事務所からの説明】

1. 河川防災ステーションとは
2. 長沼地区河川防災ステーションについて
3. 長野市エリア(下流盛土)について
4. 長野市エリア(複合施設)について



住民説明会の様子①



住民説明会の様子②



イメージパース②(守田神社)



住民説明会の様子③



イメージパース①(全体計画)

＜地域の皆様から頂いた主な意見＞

- 洪水時の土砂流出を考慮し、防ステの法面もコンクリートで覆い補強するべきではないか。
- 坂路等について設計ができ次第、説明をしてほしい。

長沼地区河川防災ステーション説明会(令和4年10月)

■日時:令和4年10月30日(日)
18:00~20:00

■場所:長野市 穂保研修センター

■出席者:参加者 47名

【説明会の目的】

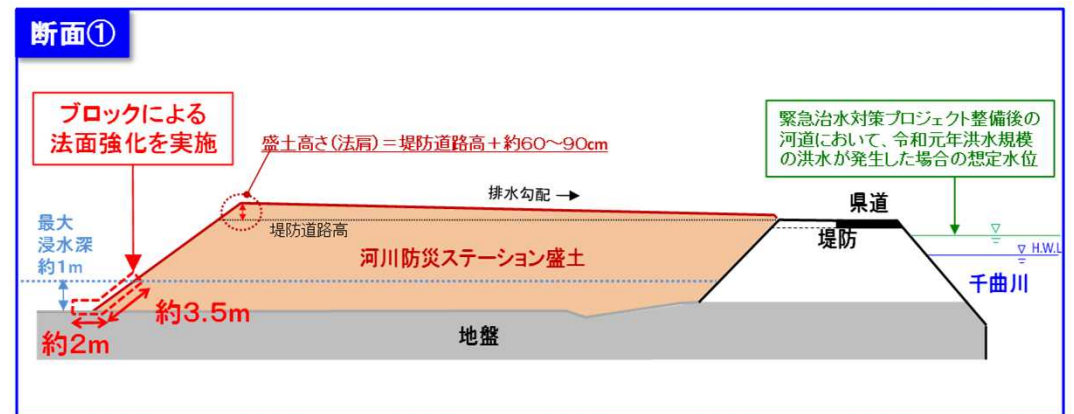
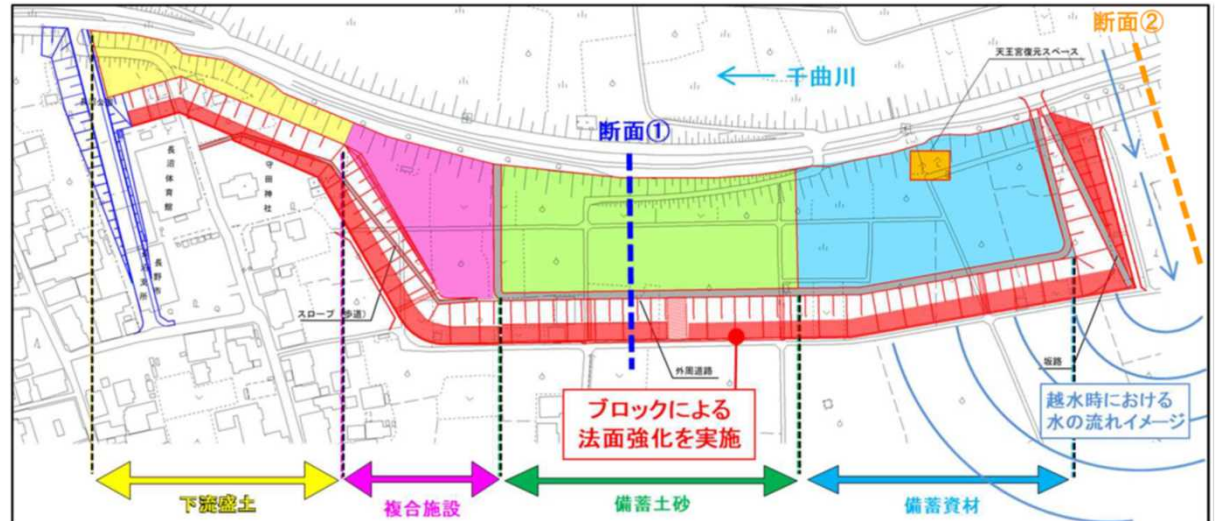
「長沼地区河川防災ステーションの計画」について説明

【千曲川河川事務所からの説明】

1. 河川防災ステーションとは
2. 長沼地区河川防災ステーションについて
3. 法面強化について

【長野市からの説明】

1. 防災ステーション周辺の長野市道について



(詳細については、現在検討中であり今後変更となる可能性がある)



説明会の様子①



説明会の様子②

＜地域の皆様から頂いた主な意見＞

- 法面全体を強化して欲しい。
- 防災ステーションの周辺道路(長野市道)について、災害時の利用も考慮し拡幅して欲しい。

2. 法面強化について

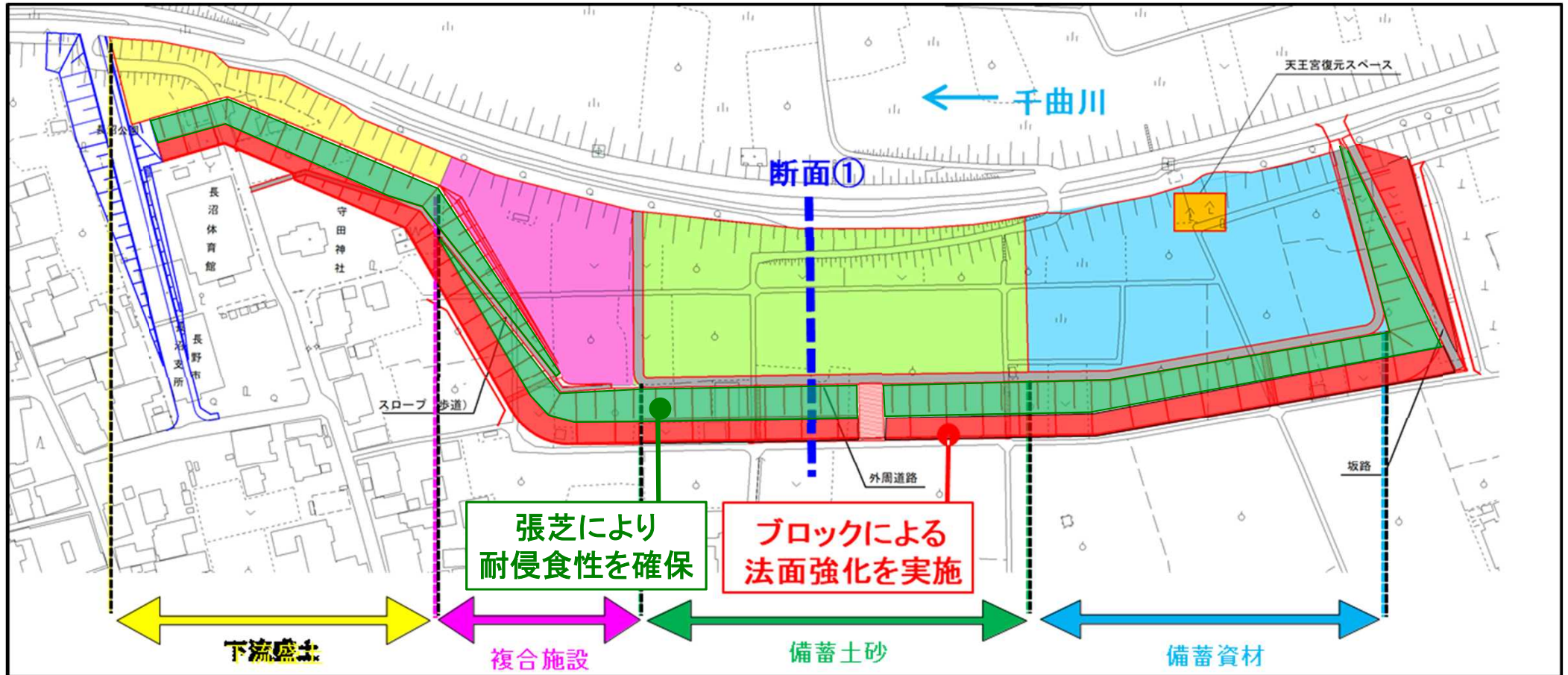
長沼地区河川防災ステーションの整備イメージ図(全体図:平常時)

■ワークショップでのご意見を踏まえた全体イメージパース図を国・長野市と連携し、作成。



長沼地区河川防災ステーションの法面強化について① 【ブロック・張芝】

- 長沼地区河川防災ステーションのエリア分けについては、以下のとおり。
- 法面については、ブロックと張芝による強化を実施予定。



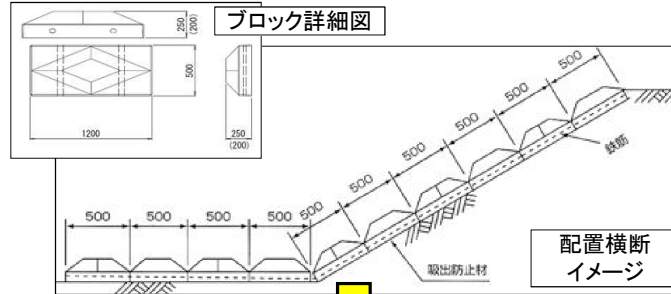
※詳細について、今後変更となる場合がある。

	下流盛土エリア
	複合施設エリア
	備蓄土砂エリア
	備蓄資機材エリア (基本的に平常時利用は不可)

長沼地区河川防災ステーションの法面強化について② 【ブロック・張芝】

- 河川防災ステーション法面強化に使用するブロックは、補強対策等で多く活用されている「連節ブロック」を設置。
- 防災ステーションの上流側から越水した際の流速を考慮し、ブロックの種類を選定。
- 連節ブロック以外の範囲は、張芝により耐侵食性を確保。

連節ブロックによる強化



素材	復旧工法例		設計流速 (m/s)										
	構造	工法	2	3	4	5	6	7	8	~			
コンクリート系	8	コンクリートブロック張	4	5	6	7	8						
	9	ボース	4	5	6	7	8						
	10	法特工	4	5	6	7	8						
連節ブロック	11	連節ブロック	5	6	7	8							
	12	大型連節ブロック	5	6	7	8							
	13	ボース連節ブロック	5	6	7	8							

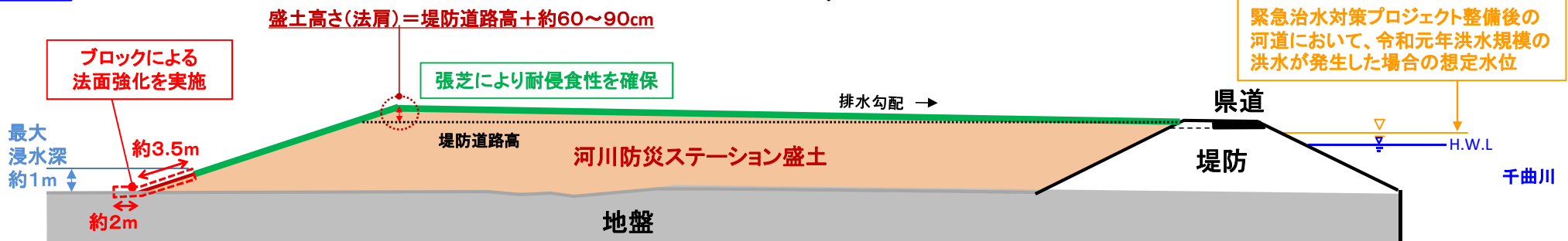
連節ブロックは流速5m/sまで対応可能

張芝により耐侵食性を確保

表層に広く根を張り、根同士が絡み合うことにより、降雨による侵食に対して効果がある。
通常の河川堤防の法面や防災ステーションの法面等に用いられている。



断面①



※最大浸水深は河川整備の最終目標となる基本方針流量を想定(計画規模:1/100)
 ※基本方針流量が河川防災ステーション周辺から越水した、流れる流速(約2~3m/s)に耐えられる連節ブロックを選定。
 ※詳細について、今後変更となる場合がある。

河川防災ステーションの川裏側法面被覆事例について

- 全国(他地整)における河川防災ステーションの事例は以下のとおり。
- 川裏側法面は、芝等による植生被覆となっている。



3. 周辺道路について

長沼地区河川防災ステーションの周辺整備(周辺道路)について



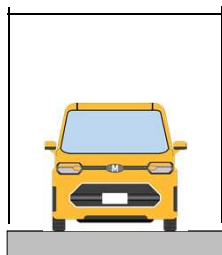
防災ステーション周辺の緊急避難経路、災害復旧・復旧活動支援経路を踏まえた道路整備につきましては、地域の皆さまのご理解を得ながら進めてまいります。引き続き、市道の整備に、ご協力をお願いいたします。

※詳細について、今後変更となる場合があります。

【①・②・③】 防災ステーション周辺整備(道路)の現況について

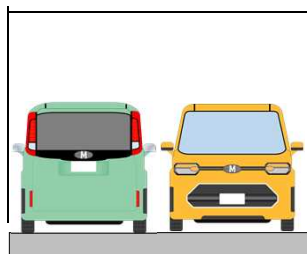
① 長沼95号線

全幅 2.6 m

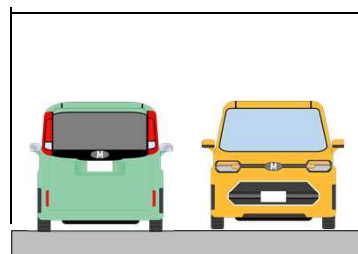


② 長沼149号線

(最小幅員)
全幅 3.6 m

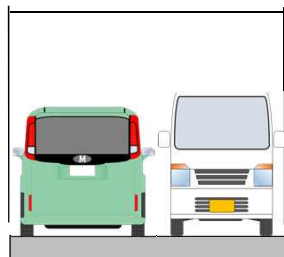


(最大幅員)
全幅 4.2 m

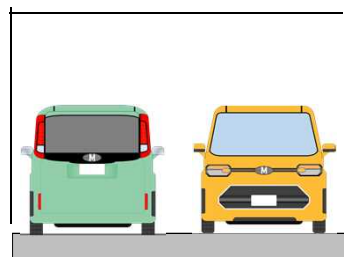


③ 長沼153号線

(最小幅員)
全幅 3.3 m

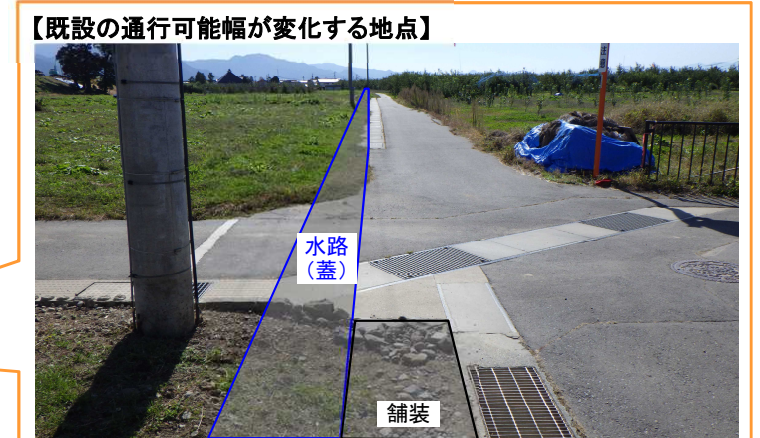
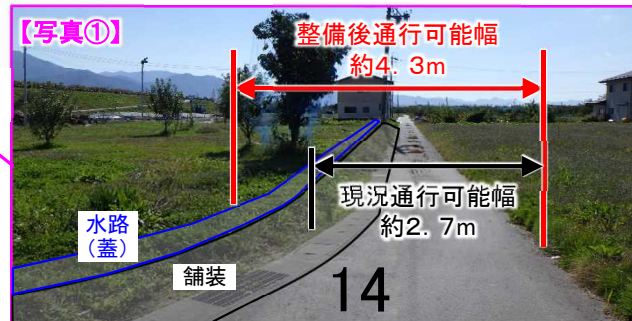
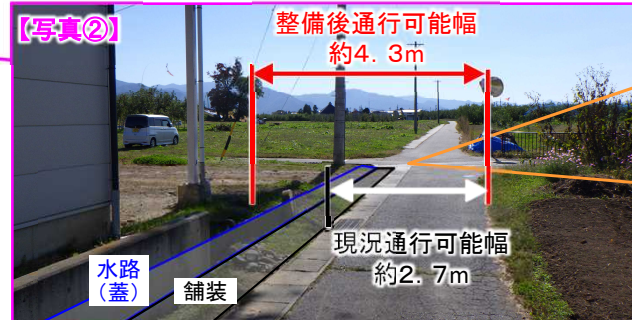
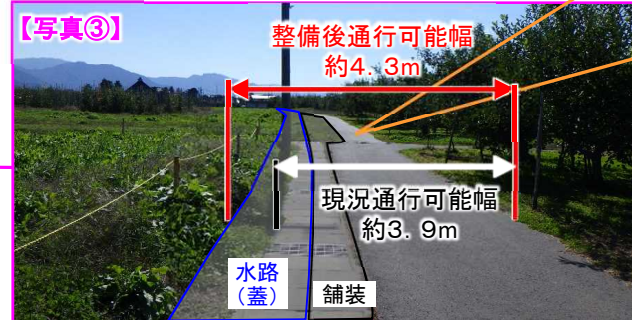
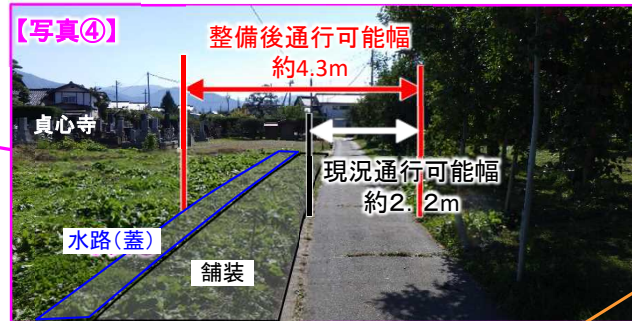
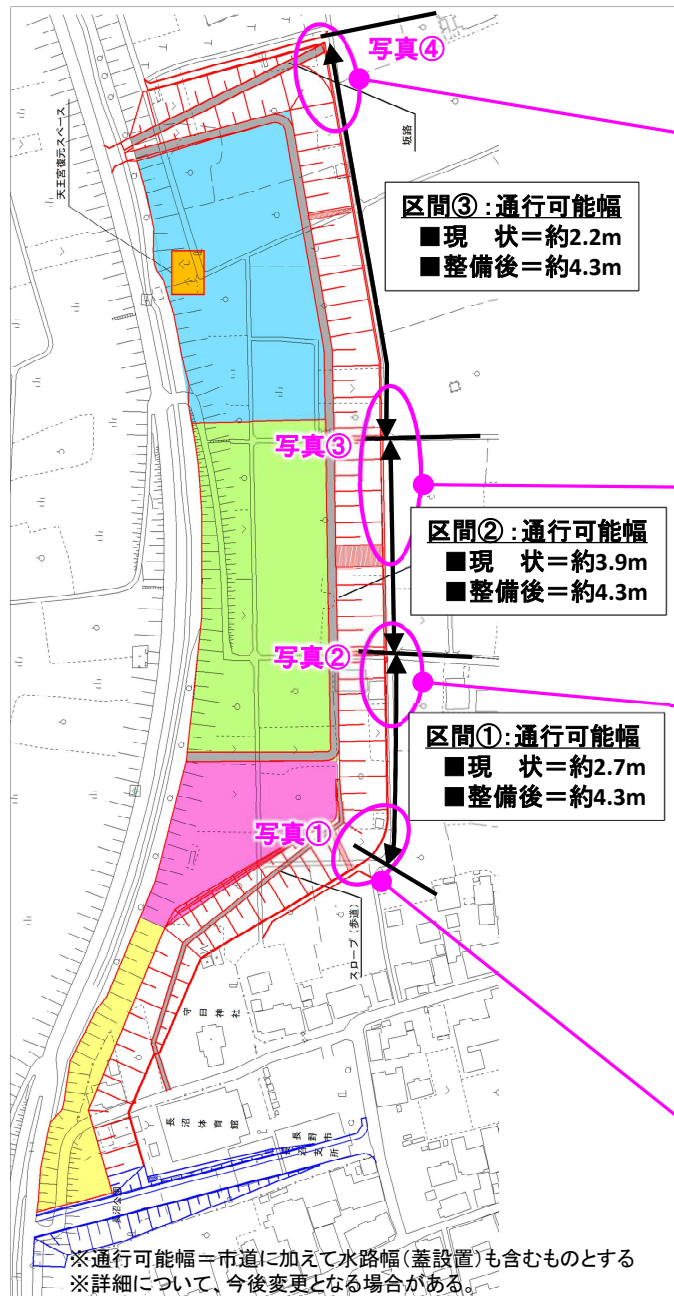


(最大幅員)
全幅 4.0 m



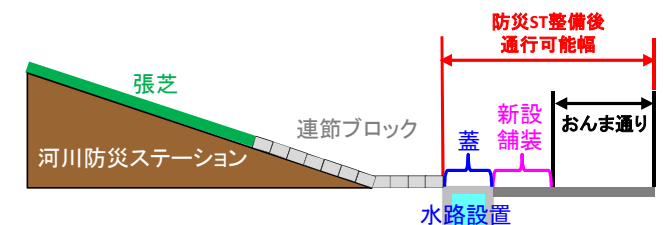
【④おんま通り】 長沼地区河川防災ステーションにおける周辺道路について

■河川防災ステーション沿いの水路整備に合わせて、おんま通と新設水路の間を舗装することでおんま通の通行可能幅が広がります。



おんま通のイメージ(イメージ断面)

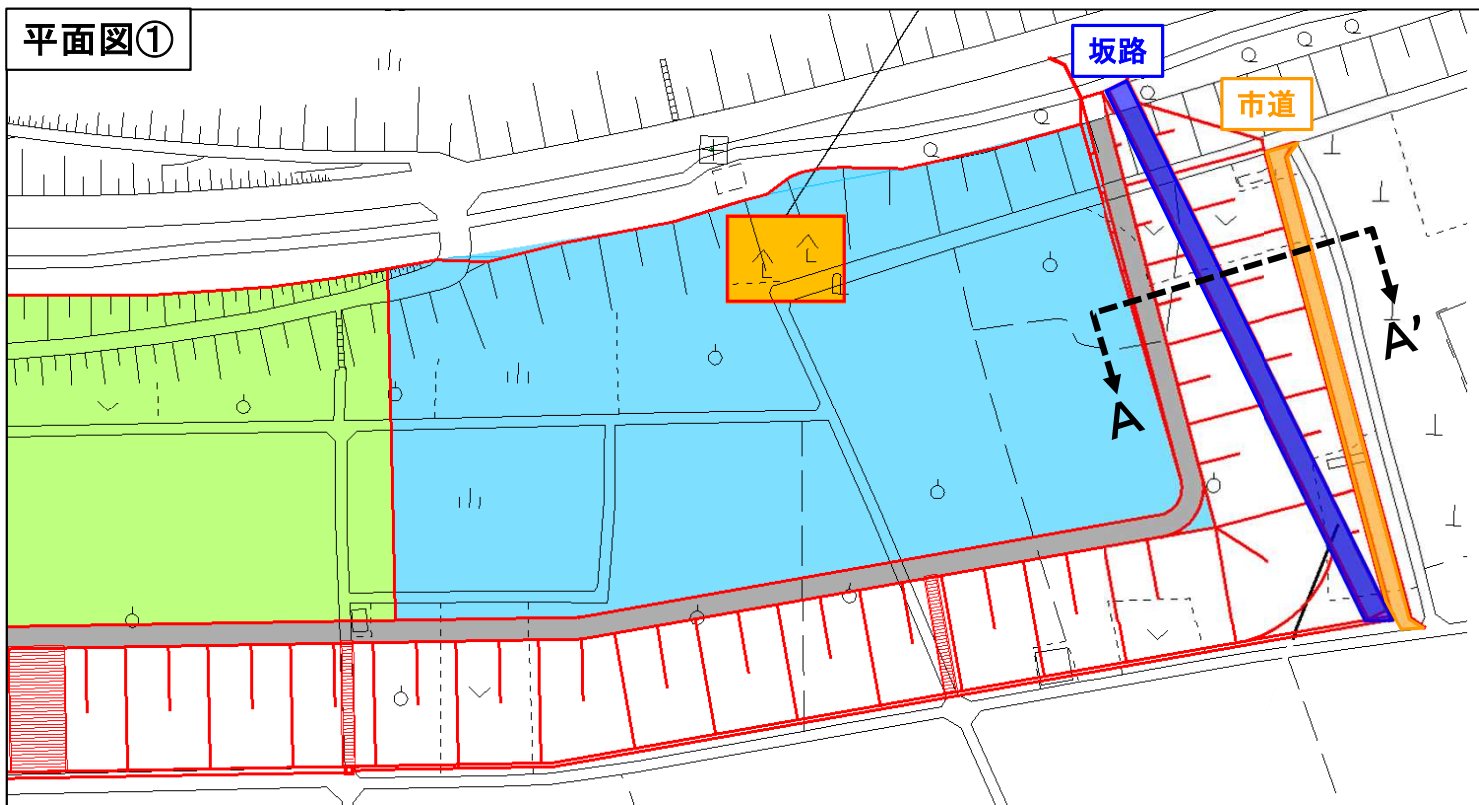
- おんま通と水路の間を舗装し、通行できるように工夫。
- 水路についても蓋かけを行うことで、通行幅の確保を図る。



【⑤坂路等】 長沼地区河川防災ステーションにおける周辺道路について

■防災ステーション坂路は、防災ステーション周辺道路と一体となり、災害時の緊急避難経路及び災害復旧活動支援経路の一部として利用できるようにします。

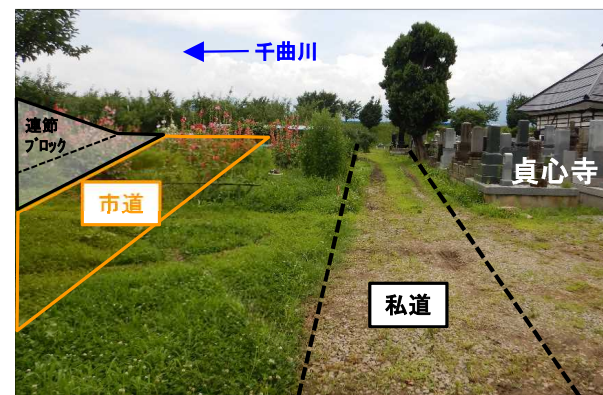
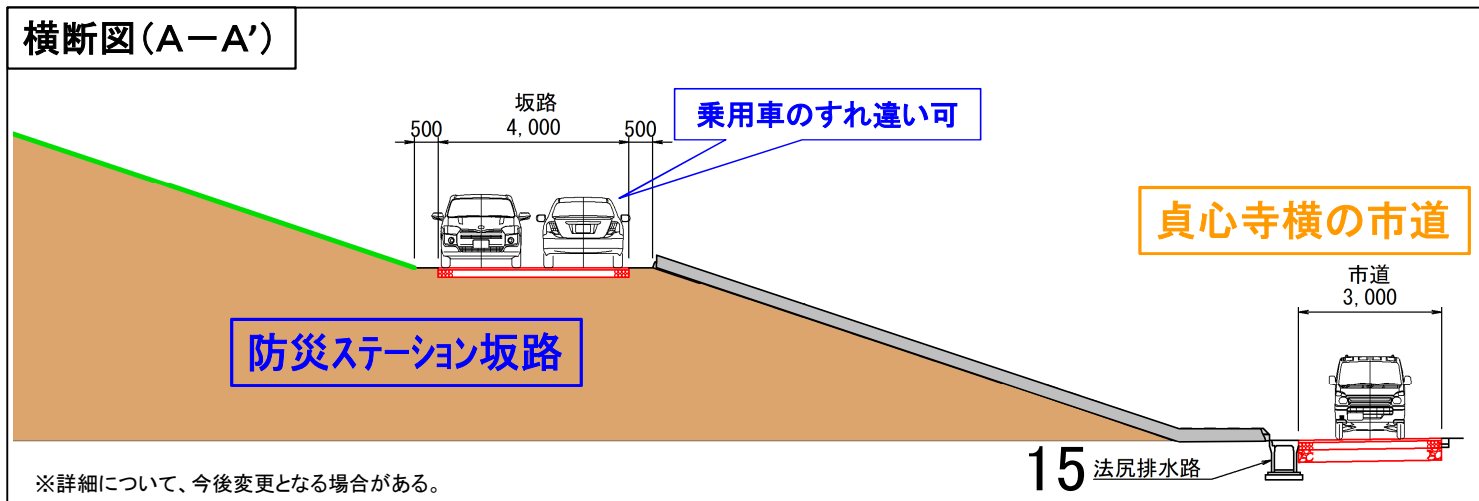
平面図①



平面図②



横断面図(A-A')



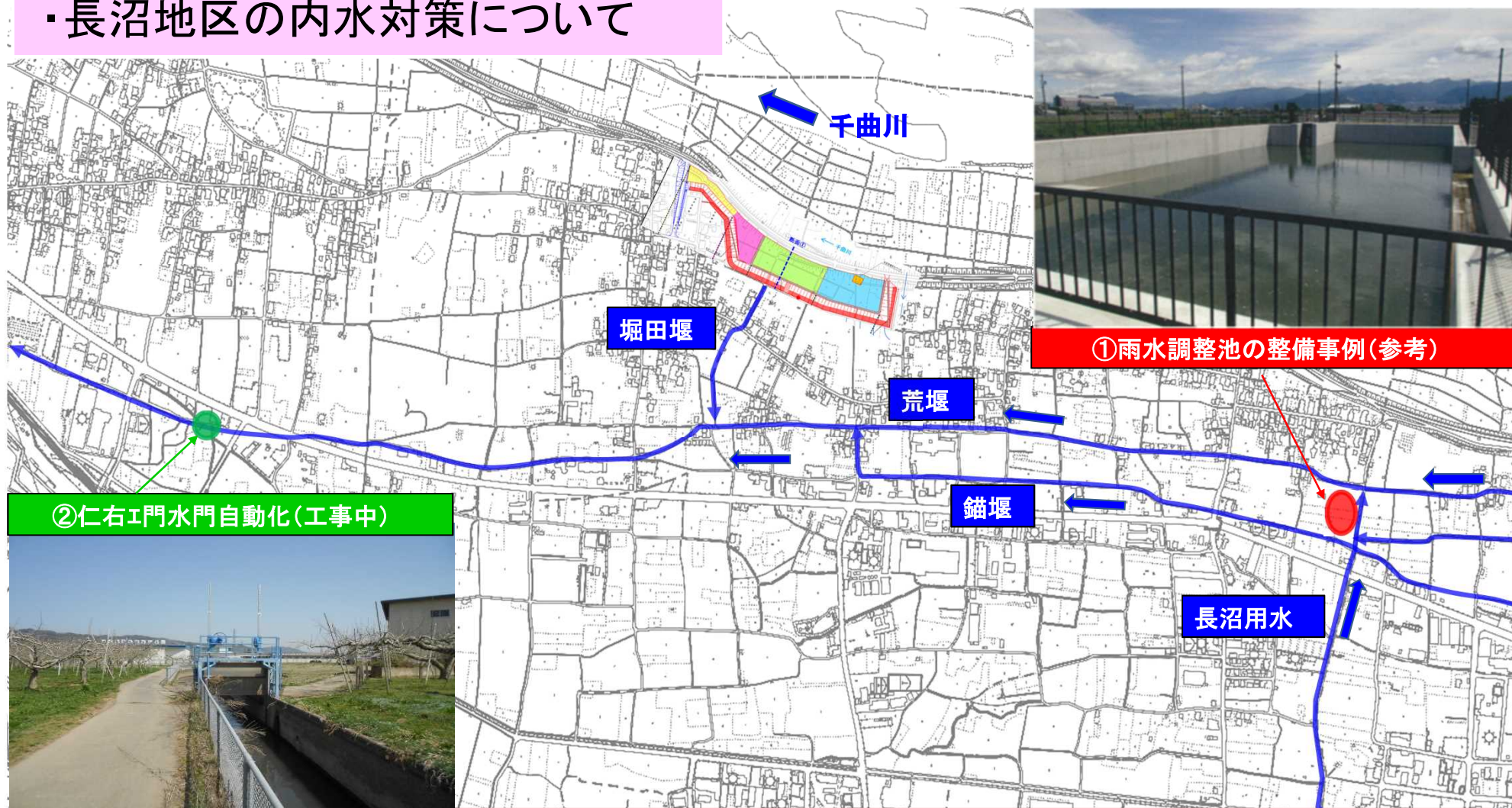
おんま通から堤防側を望む

※詳細について、今後変更となる場合がある。

4. 内水対策について

長沼地区河川防災ステーションの周辺整備(内水対策)について

・長沼地区の内水対策について



①雨水調整池の整備事例(参考)

②仁右工門水門自動化(工事中)

- ①長沼雨水調整池整備により荒堰下流域への雨水流出を抑制し、浸水被害の軽減を図ります。
- ②仁右工門水門の自動化により降雨時において、荒堰の効果的な水位低下を図ります。

長沼地区河川防災ステーションの周辺整備(内水対策)について



- ①雨水幹線整備（復興道路に併せて）を実施。
- ②防災ステーション周辺での雨水貯留施設の整備を検討。



①・②の整備により堀田堰への雨水流出を抑制し、浸水被害軽減を目指します。

